

東中野修道教授略歴

□学歴 職歴

(昭和二年一月一九日 鹿児島県に生まれる)

昭和四六年三月 鹿児島大学法文学部文学科西洋史学専攻卒業(文学士)

昭和四九年三月 大阪大学大学院文学研究科修士課程修了(文学修士)

昭和五二年六月 大阪大学大学院文学研究科博士課程単位取得後退学

昭和五四年四月 亜細亜大学教養部助手

昭和五五年四月 亜細亜大学教養部講師(社会思想を担当)

昭和五八年四月 亜細亜大学教養部助教授(社会思想を担当)

昭和六〇年四月 西ワシントン大学客員教授(日本思想史、昭和六一年三月まで)

昭和六三年四月 ハンブルク大学客員研究員(平成元年三月まで)

平成二年四月 亜細亜大学教養部助教授(文部省の審査を経て日本思想史をも担当)

平成六年四月 亜細亜大学教養部教授(社会思想史、日本思想史を担当)

平成七年一月 文学博士(立正大学、主査は木崎良平鹿児島大学名誉教授)

平成一三年四月

亜細亜大学法学部教授（社会思想史、日本思想史を担当）

平成一七年四月

亜細亜大学法学部教授（政治思想史をも担当）

平成二一年四月

亜細亜大学大学院法学研究科教授（政治思想史を担当）

平成二二年四月

亜細亜大学大学院法学研究科委員長（平成二六年三月まで）

□学外委員

平成一一年七月

南京事件研究会代表（平成一五年八月まで）

平成一二年一〇月

日本「南京」学会会長兼学会誌編集委員長（平成二四年九月まで）

平成一八年四月

財団法人大学基準協会大学評価委員会分科会評価委員（平成二一年三月まで）

□学会発表

昭和六〇年一二月

A Neglected Topic in Modern Japan: The Annual New Year's Poetry Party at the Imperial

Palace, Washington State Seminar on Teaching about Japan（シアトル日本総領事館とワシ

ントン大学東アジア資料センターの共催、University of Washingtonにて）

平成元年一〇月

「吉田松陰の諫死の思想——僧默霖との往復書簡論争を中心に」（日本思想史学会、武蔵大

学にて）

平成二年一〇月

「吉田松陰の忠の思想」（日本思想史学会、東北大学にて）

平成三年一〇月

「吉田松陰の尊皇の思想」（日本思想史学会、大阪大学にて）

平成一五年八月

平成一五年九月

Nanking Massacre as War Propaganda Keeping Still Alive (the International Commission of Military History at the Institute for Political Studies of Defense and Military History, Bucharest, Romania, August 12th, 2003)

「中国国民党党史館所藏極秘文書の分析」(日本「南京」学会、亜細亜大学にて)